

The background of the entire page is a dense, close-up photograph of various types of leaves. Some leaves are solid green, while others are variegated with shades of pink, red, and white. The leaves are arranged in a natural, overlapping pattern, creating a rich, textured background. A white rectangular box with a thin black border is centered on the page, containing the main title text.

Full-Time
Training
in Tokyo

2017

全時間訓練

全時間は神学校や聖書学校ではありません。
それは青年たちが共に住んでからだの生活をして
霊的な命を訓練し、ここで訓練されて成就され、
聖書を学び、祈りを学び、良い性格を建て上げることです。
主を追い求める青年たちを成就して
キリストの中で成長させ、キリストのからだにおける正常な、
生きた、機能する肢体となって、
キリストの有機的なからだを建造し、
キリストのからだの実際を生かし出します。

Watchman Nee ウォッチマン・ニー

池島本太郎 12th
Mototaro Ikejima



田中友美 12th
Tomomi Tanaka



酒井優太 13th
Yuta Sakai



坂口明斗 13th
Akito Sakaguchi



Truth

池島本太郎

真理

「またあなたがたは真理を知る、そして真理はあなたがたを自由にする」(ヨハネ8:32)。ギリシャ語は「実際」と同じ意味で、神聖な事柄の実際である主ご自身を指しています。36節では「子があなただを自由にする」と言い、御子すなわち主ご自身が真理であることを証明しています。

「そして主はその霊です、そして主の霊のあるところには、自由があります」(Ⅱコリント3:17)。主は今日その霊として、わたしたち再生された人の霊とミングリングされて、一つ霊となっています。「わたしがあなたに語った言葉は霊であり、命である」(ヨハネ6:63b)。その霊は彼の言葉の中に具体化されています。

「聖書はすべて、神の息吹かれたものであり」(Ⅱテモテ3:16a)、その霊なる神は聖書(神の言葉)の中で具体化され、それはキリストの具体化でもあります。わたしたちは、聖書を通して神の言葉に触れる時、生けるキリストに触れることができます。「さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を」(エペソ6:17b)、「すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい」(エペソ6:18a)。わたしたちは、神の言葉を祈り読みすることによってこのことを実行します。

主は今日、神の王国の実際である召会生活の回復、団体の神・人の生活を回復しておられます。それは、キリストのからだを建造し、花嫁の用意を整え、地上に王国をもたらすためです。そのために、わたしたちは神の言葉で構成される必要があります。すなわち真理で装備される必要があります。





坂口明斗

Life

命

「わたしはキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはやわたしではありません。キリストがわたしの中に生きておられるのです。そしてわたしは今、肉体の中で生きているその命を…」(ガラテヤ2:20a)

パウロは、古い「わたし」は十字架につけられ、命としての神で再生された新しい「わたし」は生きていることを示しました。キリストとパウロは、一つの命、一つの生活を持っていました。キリストは命を与える霊と成り、わたしたちの霊とミングリングされているので、わたしたちはこの命を内側に持っています。この命はすべてを含む命であり、あらゆる状況に適応することのできる命です。

訓練の中であらゆる積極的な状況や環境、また消極的な問題に直面することがあります。その時古い「わたし」が何かを感じ、何かを行い出そうとします。しかしわたしたちは、古い「わたし」ではなく、命としての神で再生された新しい「わたし」、キリストと一つの命を生きる必要があります。

わたしたちは「おお主イエスよ」と祈るとき、十字架につけられ復活したキリストと一となることができます。霊に戻り、ミングリングされた霊を活用するとき、そこにわたしたちの努力や自制はなく、わたしたちがすでに得たこの命の自然な表現があります。そしてこの命はわたしたちのあらゆる必要を満たしてください。わたしは訓練の中で、キリストを訓練生活の中心、またあらゆるものとして経験することを主に訓練されています。

Service

田中友美

奉仕

「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。」(ヨハネ12:24b)

わたしたちの奉仕の目標は、他の人たちに恵みであるキリストを注入することです。奉仕は命から出たものであり、また命へと至るものでなければなりません。命が供給されなければ、召会は建造できません。真の奉仕とはすべて建造の働きです。

「その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。」(エペソ2:22)

わたしたちの霊は召会が建造される所です。霊から離れているならば、わたしたちのやっていることは建造と何も関係ありません。霊の外でわたしたちは個人主義的で、分裂的です。霊の中でのみ、わたしたちは調和されます。

「この方から、からだ全体は…からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。」(エペソ4:16)

召会の実際の建造は、信者たちの命の成長によります。わたしたちは互いにキリストを供給し合う奉仕によって、命の成長を持たなければなりません。真の奉仕はからだの中にあります。

全時間訓練でも様々な奉仕が与えられますが、わたしは多くの時自分の力で行おうとしてしまいます。失敗する度に、主にも他の肢体に開いていなかったことを照らされます。しかしいつも組み合わされて奉仕をするような状況や訓練に与れていることを主に感謝します。生涯主に仕えるために学ぶことができますように。





酒井優太

Gospel

福音

「わたしにある枝で実を結ばないものはすべて、彼は取り去られる。」(ヨハネ15:2a)

私はこの御言葉があまり好きではありませんでした。なぜなら、福音を宣べ伝え、実を結ばなければ、人を得なければ、取り去られると告げているからです。福音を一種の義務と感じ、罪定め感覚がありました。訓練に参加してからも最初の時期は、義務感から福音を宣べ伝えていました。

しかし、聖書は「福音の喜ばしいおとずれを告げ知らせる者の足は、なんと麗しいことであろう！」(ローマ10:15b)と告げています。この御言葉によって、わたしたちが福音を宣べ伝える時、わたしたちの足は麗しく、福音を宣べ伝えることができるのはなんと栄光なことだろうかと思われました。祝福をもって種をまくものは、祝福をもって刈り取ります。神は祝福する魂を榮えさせ、人を潤すものを潤します。福音を宣べ伝えることによって、自分自身が三一の神ご自身をもって大いに祝福されたと証しすることができます。

「そして実を結ぶ枝はすべて、もっと実を結ぶようにと、彼は手入れされる。」(ヨハネ15:2b)

彼は実を結ぶように言っているだけではありません。もしわたしたちが実を結ぶならもっと実を結ぶようにと手入れされることを感謝します。多くの実を結ぶ枝となることを願います。

Character

池島本太郎

性格

「またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい」(ローマ 12:2a)。

造り変えは、内側の新陳代謝の過程です。神はこの過程の中で、彼の神聖な命と性質を造り込んで、わたしたちの全存在、特に魂に広げられます。そしてキリストと彼の豊富を、わたしたちの新しい要素として、わたしたちの各部分にもたらし、わたしたちの古い天然の要素を、徐々に排除されます。

わたしたちは主に仕えるために造り変えられた性格を必要とします。それは造り変えを通して他の人たちと組み合わせられて、キリストのからだを建造するためです。一方で、神は絶えずわたしたちを建造にふさわしいものに造り変えておられますが、もう一方で、わたしたちは自分自身を訓練して彼の造り変えに開く必要があります。訓練生活、召会生活において、造り変えられていない天然の命は、問題の源です。自分が何であるかにおいて造り変えられている人は、何の問題も引き起こしません。わたしたちはこの過程にあり、同形化、栄光化されるに至るまでこの造り変えは継続します。

多く主によって対処されるときに、自己、天然が暴露されますが、それは主がわたしたちを取り扱われているのであって、彼に依存し彼の命と性質を必要とすることを見せられています。全時間訓練は、正常で機能するバイタルな肢体を生み出す所であるので、それに必要な訓練の「五本柱」と呼ばれる、真理、命、奉仕、福音、性格があります。すべてにおいて訓練を必要としますが、その中でも「性格」は基礎、土台となるもので、他のものを入れるための器と言えます。「性格」が五本柱の一つとして存在するのは、造り変えを通して主に仕えて、主に役立つ器となる必要があるためです。



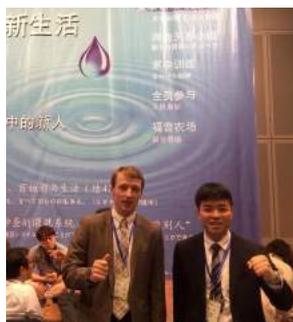
Calling 召しの証し

坂口明斗

わたしは大学二年生の時、東京全時間訓練の集中講義に参加しました。そこで印象付けられたのは、主イエス・キリストを享受することによって、主の選択を取ることができる、ということでした。イザヤ7:15は言います、「彼はバターと蜜を食べ、いかに悪を捨て、善を選ぶかを知るに至る。」

バターは神の恵みを示し、蜜は神の愛を示します。神の恵みと神の愛を日々享受することによって、神の選択を取ることができます。私はこれを聞いた時、まだ進路について何も考えていませんでした。しかし、主に献げたい気持ちはありましたので、選択を迫られた時に主の選択を取れるよう、毎日とにかく主を享受しようと決意しました。

日々主を享受していく中で、進路の選択を迫られて主の御前に持ち出したとき、全時間訓練に行くことに平安があり、またそれを選択することに抵抗はありませんでした。私たちは日々主を享受することによって、主の選択を取ることができます。ハレルヤ！





酒井優太

ローマ9:15は言います、「わたしは自分があわれもうとする者をあわれみ、慈しもうとするものを慈しむ」。神の主権あるあわれみのゆえに主に感謝します。

私はチャーチキッズとして育ちました。小学校の頃、同年代の兄弟姉妹たちと詩歌を歌うのがとても楽しかったのを今でも覚えています。個人的にも聖書を読み、祈り、とても主を享受していました。そして中学一年生の特別集会、当時はまだ九段会館でしたが、そこでの訓練生の展覧が幼い私にはとても印象的でした。詩歌265番を歌いながら入場してくる訓練生に憧れを抱きました。中高生ブレンディングでとても主を享受している訓練生を見て、自分もあのようになりたいと思いました。そして、大学を卒業したら訓練に行きたいです、という献身もしました。その頃から私の内側には訓練に行きたいという願いがずっとありました。

しかし、高校生になった頃から召会生活があまり楽しくなくなりました。兄弟姉妹にも徐々に閉ざすようになりました。そして大学生になり、忙しい部活にも所属し、何とかギリギリで召会にいる、そのような状態になりました。一方で、そのような状態でも自分には主が必要であることは漠然と感じており、以前主を享受したこと、そしてその甘さ、素晴らしさを忘れることは出来ませんでした。なので自ら選んで部活に所属し、この世で忙しくしているのにも関わらず、何の妨げもなくただひたすら主を享受できる訓練はどんなに素晴らしいだろうかとずっと思っていました。

主はわたしをあわれんでくださり、召会にとどめ、訓練参加への願いを保ち、そして実際に全時間訓練へと導いて下さいました。主に感謝します。

Anaheim アナハイム

田中友美

アナハイムでの訓練は私にとって初めてのアメリカということもあり、言語の面や生活の面で行く前から不安がありました。しかし多くのことで主に頼ることを学ぶ機会が与えられ、主に感謝します。せっかくの機会だということに英語が喋れない私はアナハイムの姉妹達と祈ることも交わることもままならず、初めはもどかしい時間を過ごしました。しかし、主は兄弟姉妹を通して細やかに顧みて下さいました。

FTTAのクラスでは卒業する訓練生に対しての交わりも多くあり、卒業後の奉仕の重要性について印象づけられました。

ヨハネ12:26は言います、「だれでもわたしに仕えるなら、その人はわたしについて来なさい。そうすれば、わたしのいる所に、わたしに仕える者もいるのである。だれでもわたしに仕えるなら、父はその人を尊ばれる。」

主イエスは十字架上の死、復活、昇天し、御父によって栄光を現されました。わたしたちは主の手順に従ってついて行く必要があります。主の助けを取って、この道を歩まなければなりません。それはこの世では栄光が与えられる道ではありませんが、御父はその人を尊べれます。

FTTA-ボストンの交わり、ドイツのゴスペルトリップの交わりも新鮮でした。わたしたちはスーパーマンになるのではなく、交わりに留まることが必要です。主によって彼のパーソンを生きるならわたしたちは従順になり、近づきやすい人、他の人を愛する人となります。ヨハネ21章で主は火を起こし、魚を洗って、焼いて、朝食を与えることを実行されました。主は多く語っていませんが、注ぎ出しておられました。主の模範があること、主がわたしたちに仕えて下さることを感謝します。奉仕者は奴隷の心を持って仕える必要があります。

主を愛し、主の愛を経験するなら、他の人を愛する者となります。主を愛して仕え、兄弟姉妹を愛して仕えることが召会生活であることを見せられて感謝します。

同じ部屋の姉妹が卒業集会の練習で忙しい中、部屋に戻ってきてから、休みたいとは言わず「聖書が読みたい」と言いました。それを聞いて私もこのようにいつも主を愛し、主を追い求める心を持ちたいと願わされました。



F T T T k

1 2 t h & 1 3 t h

Full-Time Training in Tokyo

〒151-0071

東京都渋谷区本町1丁目30-7 ジャパンゴスペルワーク

TEL: 03-3374-8576